

# ブラジル経済・市場概況

## 7月27日のブラジル株式市場の大幅上昇について

HSBC投信株式会社  
2012年7月30日

### 要旨

- ▶ 7月27日(金)のブラジル株式市場は、ボベスパ指数が前日比+4.7%と大幅高となりました。
- ▶ 欧州中銀(ECB)総裁、次いで独首相と仏大統領が、ユーロを守るためにあらゆる措置をとると発言したことが、市場で好感されました。ブラジル国内では、今年下半期の景気回復に対する期待感もプラスに働いています。
- ▶ 今後、ブラジル株式市場は、欧州の債務危機対応策の進捗、中国の金融・財政両面からの追加景気刺激策、国内では景気の回復が相場の支援材料になるものと見られます。



### ボベスパ指数が約1年振りの大幅高

7月27日(金)、ブラジル株式市場では、ボベスパ指数が前日比+4.7%と大幅高となり、一日の上昇率としては2011年8月9日以来最大となりました。同指数構成銘柄のうち上昇が65銘柄、下落が2銘柄と、ほぼ全面高でした。通貨レアルは対米ドル、対円で小動きでした。

### 上昇の主な要因は欧州の危機対策への期待

今回のブラジル株式市場上昇の主な背景としては、欧州の債務危機解決に向けた動きへの期待感が挙げられます。

26日(木)にドラギ欧州中銀(ECB)総裁、次いで27日(金)には、メルケル独首相とオランド仏大統領が、ユーロを守るためにはあらゆる措置をとると発言しました。これを受けて、ECBや欧州各国政府が近く債務危機収束に向けた措置をとるとの期待感が広がっています。具体的には、ECBによる追加利下げや長期資金供給オペ(LTRO)第3弾、またイタリアやスペインの国債買い入れ再開などが期待されています。ECBが欧州金融安定基金(EFSF)や欧州安定メカニズム(ESM)と協調して国債を購入する準備に入ったとも報じられています。当面は、今週8月2日(木)のECB理事会で打ち出される対策が注目されます。欧州債務問題の抜本的解決にはかなりの時間を要するものの、今後、新たな危機対策が打ち出されれば、投資家センチメントが改善し、ブラジルでもリスク選好度が高まることが見込まれます。

## ご参考資料

また、米国でも量的緩和第三弾(QE3)への期待が高まっており、当面は今週7月31日(火)、8月1日(水)開催の連邦公開市場委員会(FOMC)に注目が集まっています。

### 国内の景気回復期待と今後の株式市場の見通し

直近の国内景気指標は、依然として景気回復の遅れを示していますが、今年下半期には回復局面に入るとの見方が増えています。中銀による昨年8月末以降の金融緩和(8回連続、合計4.5%の利下げ)に加えて、政府も減税などによる自動車や白物家電の消費刺激策、政府系金融機関による産業支援のための融資拡大などの景気対策を次々と打ち出しています。7月27日(金)には、ジルマ大統領が、電力コスト引き下げ、道路・港湾・空港への投資促進策、追加減税を含む新たな景気対策を、本年8月から9月初旬にかけて導入すると発言しました。また、中銀も、最近発表された金融政策委員会議事録の中で、基本シナリオでは、今年下半期にはこれまでの政策効果が表れてくるため、より力強い回復を見込んでいる、としています。

ブラジル株式市場は、当面、欧州を中心とする外的要因の影響を受けて、やや上下動の激しい状況が続くことが予想されます。一方で、上記のように、欧州で債務危機への対応策が打ち出される可能性が高まっていること、国内では景気が底入れから回復に向かうと見られること、さらに最大の輸出相手国である中国で一段の金融緩和や政府の追加景気対策の導入が見込まれること、などが今後のブラジル株式市場にとって、さらなる上昇に向けた支援材料となるものと思われます。

(以上)

### <関連するファンドに関わる事項>

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

お客様には投資信託のご購入にあたり、以下の費用をご負担いただきます。

■ 購入時に直接ご負担頂く費用

- 購入時手数料 上限 3.675%(税込)

■ 換金時に直接ご負担頂く費用

- 信託財産留保額 上限 0.5%

■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担頂く費用

- 運用管理費用(信託報酬) 上限年 2.1%(税込)

■ その他費用

- 上記以外に保有期間などに応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」などをご確認ください。

\*上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、HSBC 投信が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用項目における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 308 号

社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資信託等の売買を推奨・勧誘するものではありません。

当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。

当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。

当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。